

# 天文学の扉を開こう

## 2月の夜空

### 【オリオン座】

昨年末、都会の子どもたちに、群馬の星空を案内する機会がありました。凍てつくような寒さにもかかわらず、きらめく星々の存在感や、プラネタリウムでは実感しづらい星座の広がり感など、本物の星空ならではの実体験を満喫できたようです。案内の後には、質問がたくさん飛び出しました。都会でも見える星はどれですか？と訊いてくれた子は、今まで星に興味が無かったけれど、初めて満天の星空を見て、住んでいるところでも見てみたくなったから質問したのだとか。高山村の夜空も、住んでいれば当たり前前の空ですが、子どもたちから無限の興味を引き出す力を秘めているはずですよ。

さて、この夜もらった質問に、一番好きな星座は何ですか？というものがありませんでした。ちょっと考えて、その日観察した「オリオン座」かな、と答えました。なぜなら、オリオン座には、星が生まれている場所があったり、もうすぐ吹き飛んでしまいそうな星があったりして面白いからだよと。

寒いので、極力短く、星には始まりと終わりがあることをお話ししました。星は「オリオン大星雲」のような、星の材料になるガス雲の中で一斉に生まれ、そのうちに「すばる」のように、若い星の一団として姿を現します。それが次第にばらばらになり、太陽のように、ひとりぼっちになります。やがて、太陽のような星は静かに一生を終えますが、太陽よりもずっと重たい星は、一生の最期に大爆発を起こして吹き飛んでしまいます（超新星爆発）。まるで、宇宙の打ち上げ花火のように。

この夜の星空案内では、三つ星を挟んで対峙する源平合戦の星として、橙色のベテルギウスと青白色のリゲルを紹介しました。ベテルギウスは、この先1万年ぐらいの間に爆発するはずですよ。昼間でもはっきり見える超新星になるでしょう。対するリゲルは、恐竜が絶滅した頃、約6550万年前にはまだありませんでした。恐竜はベテルギウスを見ていても、リゲルは知らないのです。

こんなことをお話ししていると、子どもたちの目がきらきら輝きます。星の輝きよりも嬉しい輝きです。

### 2月のぐんま天文台のイベント

・14日(土)

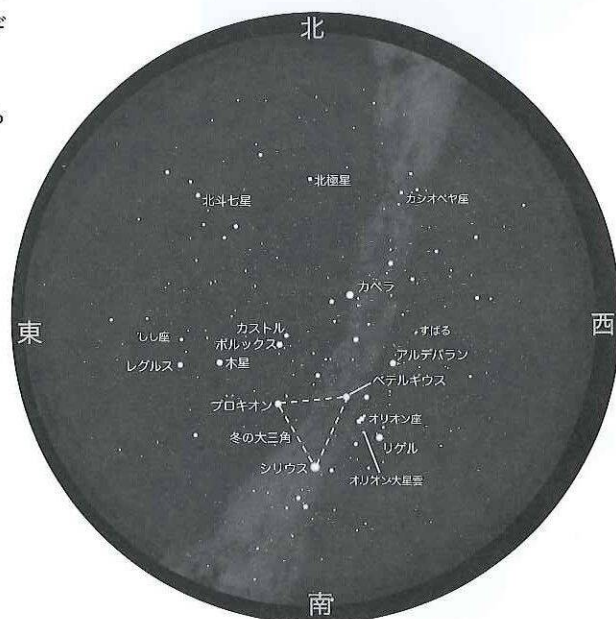
バレンタインはペア星を見よう

・21日(土)

カノープスを見よう

### ○星図の説明

2月15日午後9時の高山村の星空。月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも同じ星空になります。(月を除く。)



# リトルミュージアム

高山幼稚園5歳児の作品

マーカーと絵の具で、節分の鬼の絵を描きました。鬼は外！福は内！



ごとう ゆうたろう くん



たけだ ゆうけい くん



たなか ゆい ちゃん



つづき ゆう ちゃん



まきの もあ ちゃん



やまぎし ひなた くん



第21期緑のふるさと協力隊の関根菜規です。  
 ここ最近（1月中旬）毎日雪が降っているような気がします。積もるほどではなく、地面が白くなる程度でほとといています。去年の大雪くらい降られたら、もうどうしていいかわかりません……。  
 1月は上毛カルタ大会に参加させていただいたり、どんどん焼きに何力所か行ったりしてみました。上毛カルタ大会では、全部で6試合行いました。成績は……相手は小学生ですが、強すぎて本気でやっても勝てなかった！またいつかりベンジです。  
 どんどん焼きでは、同じ高

## こちら「5代目緑のふるさと協力隊」



山村でも、地区によってやり方は様々で、面白かったです。ずっと火の近くにいたので、服に煙の臭いが染みついてくさかったです。まゆ玉を食べると風邪を引かないと教えていただいたので、いっぱい食べた私は無敵です！  
 協力隊として高山村にいられるのも、残すところあと40日くらいになってしまいました。これ以上太らないように気を付けたいと思います。

高菜っちゃんブログ <http://taka-midori05.jugem.jp/>